

平成 29 年度事業報告

事業の概要

シルバー人材センターは、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進により、地域社会の活性化に貢献すること。また、生涯現役社会の実現についても、シルバー人材センターでは高齢者の「居場所」と「出番」をつくるとともに、会員が、支えられる側ではなく支える側として活躍できるよう取り組むとしております。

このことから、当センターでは「会員の拡大」と「就業機会の拡大」を最重点課題として、役職員や就業創出員を活用し、毎月の入会説明会への参加者の増を図ることや、就業機会の拡大として、公共施設、事業所、一般家庭へのセンター事業の説明等への取り組みを行いました。また、センターの活動内容を広く理解いただくため、市の産業まつりに出店参加し、チラシの配布や会員の手作り作品の展示販売を行うなど、センター事業のアピールに努めた他、地域の高齢者や会員を対象とした生活環境の向上に向けた「介護予防事業」、児童と高齢者の交流を目的とした「世代間交流事業」を実施いたしました。

受託事業については、受託件数、就業延日人員等、前年を上回る事業実績となったところですが、平成 29 年 10 月、宮古市と「空家等の適正な管理に関する協定」の締結が行われたことを受け、新たな仕事の需要も増えることが想定されることから、これらの受託事業に対応するため、会員の確保が益々重要となっています。

以下、項目に沿って報告いたします。

1、会員拡大

入会説明会への参加者増に向け、センター独自のチラシを作成し、各地域への配布及び高齢者が集う施設への備え置きを行いました。また、市の産業まつりへの出店参加において、センターの事業内容の説明など入会者の確保に取り組みました。しかしながら、会員数の増には繋がらなかったところです。

地域別入退会状況

	今年度末	入会者	退会者	前年度末	増減
宮古地区	298 人	29 人	36 人	305 人	△ 7 人
田老地区	14 人	3 人	1 人	12 人	2 人
新里地区	16 人	6 人	1 人	11 人	5 人
川井地区	9 人	0 人	2 人	11 人	△ 2 人
合計	337 人	38 人	40 人	339 人	△ 2 人

2、就業機会の拡大

就業機会の拡大については、受注獲得に向け、シルバー人材センター事業の理解を深めていただくため、役職員・就業創出員の活用により公共施設、事業所、一般家庭などを訪問し、センターへの発注について理解と協力を求め、就業機会の拡大に努めました。

その結果、受託事業については、前年度を上回る契約金額となりました。

3、安全対策の強化

シルバー人材センター事業の基本は「安全就業の確保」であることから、県内センターの事故等について、センター会報に掲載し注意を促す他、安全・適正就業対策推進委員会による安全就業の周知について、下記のとおり取り組みました。

- ① 全国一斉「安全スローガン」の掲示(7月1日～7月31日)
- ② 就業現場安全パトロールの実施 (4回)
- ③ 就業会員による作業前の安全確認の実施 (随時)
- ④ 安全就業及び交通安全に関する安全講習会の実施 (1回)

4、介護予防・世代間交流事業

地域の高齢者及び会員を対象とした講習会を実施し、介護予防に関する情報の提供を行った他、児童と高齢者の世代間交流を実施いたしました。

- ① 「ロコモ料理講習会」
参加者 19名 (一般参加1名、会員18名)
- ② 「ロコモ予防講座」
参加者 14名 (一般参加1名、会員13名)
- ③ 「将棋教室」
参加者 26名 (児童19名、会員7名)

5、ふるさと環境支援事業

所有者が遠方に居住している、又は、高齢者世帯が高齢などの理由により管理できないことによる空き家や墓地について、所有者の依頼に応じて、庭の手入れや清掃作業等の提供を行いました。また、宮古市と「空家等の適正な管理に関する協定」を締結したことから、これらに対応するため、次年度においても就業会員の確保が課題となります。

6、就業技能の向上

会員の就業機会の拡大を図るため、センター主催の講習会を実施いたしました。

① 草刈り機使用講習会

参加者 7名

② 襖・障子張替講習会

参加者 12名

7、調査研究

発注者へのアンケート調査を実施し、シルバー人材センターの行っている受託業務について、事務局職員の対応及び会員の作業状況に関する発注者の評価の収集を行いました。また、会員へのアンケートを実施し、センター事業に関する会員の満足度やセンターへの要望等の収集を行いました。

8、普及啓発活動

シルバー人材センター事業の紹介と会員の加入促進に向け、下記の活動を行い普及啓発に取り組みました。

① チラシを作成し、公共施設、事業所、一般家庭への配布及び高齢者が集う施設への
チラシの備え置き

② フリーペーパーへの掲載

③ 年賀タウンメールの送付

④ センターホームページの活用

⑤ 宮古市産業まつりへの出店参加

⑥ IBCまつりにおける清掃ボランティア参加

⑦ IBCラジオ放送生出演による宣伝活動

⑧ 宮古市総合体育館周辺の清掃活動

⑨ 女性会員による雑巾作り及び施設への寄贈活動

9、職業紹介事業

臨時的、短期的、又は軽易な業務に係る仕事を、地域の高齢者を対象に行う職業紹介による就業機会の提供については、今年度該当はありませんでした。

10、会員組織の強化、諸会議の開催

センター事業を円滑に推進するには会員同士の連携が必要であることから、地域班班長会議、地域班懇談会を実施いたしました。

① 地域班班長会議 5回

② 地域班懇談会 2回

11、労働者派遣事業

臨時的、短期的、又は軽易な業務に係る、(公社)岩手県シルバー人材センター連合会を派遣元とする、労働者派遣事業の実施事務所として、会員を対象にシルバー派遣事業による就業機会の提供を行いました。

実施状況

	今年度	前年度	増減
派遣登録会員数	28人	20人	8人
派遣受注件数	8件	14件	△ 6件
派遣就業延日人員	694人日	636人日	58人日

12、宮古市学童の家の運営

宮古市から指定管理を受け運営している「宮古学童の家」、「山口学童の家」、「千徳学童の家」、「鍬ヶ崎学童の家」、「磯鶏学童の家」、「田老学童の家」、「新里学童の家」については、保護者が安心して仕事ができるよう施設の安全管理・有効利用に取り組んだところです。又、児童・保護者と接する指導員の研修等を積極的に行い、420余名の児童の健全育成と保護に努めました。